

箱で抵抗力をつけて、 本田でずっと 堂々出航



ルーチン®アドスピノ™ GT
箱粒剤

移植期に使って本田で一括防除できる
フルスペック剤

イネ自身に抵抗力をつける
植物病害抵抗性誘導剤「ルーチン」と
紋枯病に効く「グレータム」、さらに、幅広い害虫に
定番の「アドマイヤー」と「スピノ」がひとつに



いもち病

紋枯病

白葉枯病

イネミスゾウムシ イネドロオウムシ ウンカ類 (セジロウソウ) ツマグロヨコバイ

フタオビコヤガ コブノメイガ イネツトムシ ニカメイチュウ



©はバイエルグループの登録商標
TM:タウ・アグロサイエンス・エル・エル・シー商標

移植期に使う本田で一括防除できるフルスペック剤

ルーチン® アドスピノ™ GT 箱粒剤

農林水産省登録 第22706号

- 成分：イミダクロプリド……………2.0%
- スピノサド……………1.0%
- イソチアニル……………2.0%
- チフルザミド……………3.0%

●毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指していう通称）

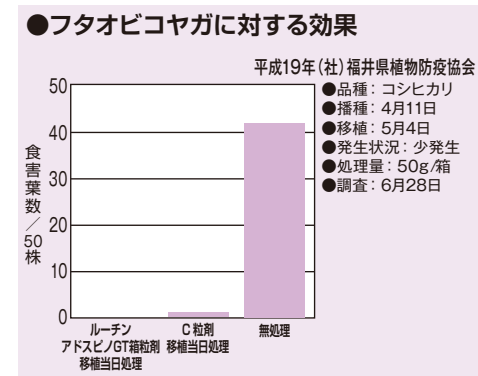
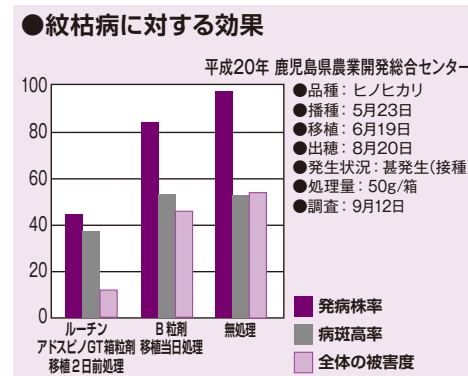
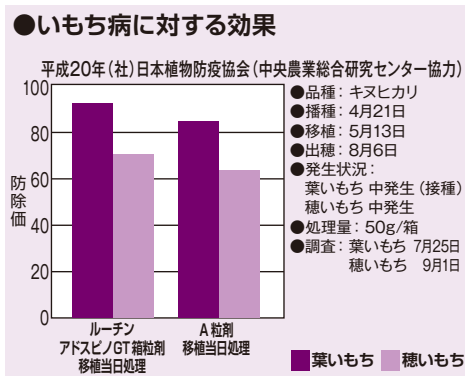
- 育苗箱処理で水稻の主要病害虫に高い防除効果を示します。**
水稻主要病害虫のいもち病、紋枯病、イネミスゾウムシ、イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、フタオビコヤガ、コブノメイガなどに対して高い防除効果を発揮します。また、細菌性病害の白葉枯病に対しても効果があります。
- 植物病害抵抗性誘導型殺菌剤であるため耐性菌発達のリスクが小さい薬剤です。**
ルーチンは、既存のイネいもち病薬剤耐性菌に対しても有効です。
- 浸透移行性に優れ、長い残効性があります。**
ルーチン、アドマイヤー、スピノ、グレートムは優れた浸透移行性と長い残効性を有しています。
- 人畜および有用生物に対しても高い安全性を示します。**
人畜、水産動植物などへの安全性が高く、環境への影響が少ない薬剤です。またスピノサドは天然物由来の殺虫成分で、化学合成農薬ではないため、特別栽培農作物への使用回数（使用成分数）にカウントされません。（※地方自治体により特別栽培にカウントされる場合もありますので、関係機関にご確認下さい。）

適用病害虫および使用方法（2018年5月現在）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	イネツトムシ ニカメイチュウ イネミスゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植2日前～移植当日	本剤：1回 イミダクロプリド：3回 (移植時までの処理は1回、 本田での散布は2回) スピノサド：1回 イソチアニル：3回 (移植時までの処理は1回、 本田では2回) チフルザミド：3回 (育苗箱散布は1回、本田では2回)	育苗箱の上から 均一に散布する
	もみ枯細菌病 内穎褐変病		移植当日		

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

試験成績



注意事項

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがありますので注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- 過剰に使用したり、本剤使用後3日以上移植せずに育苗箱中におくと葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守して下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないよう注意して下さい。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意して下さい。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落として下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。